

ごあいさつ



大会顧問
公益社団法人 日本トライアスロン連合会長
岩城 光英

日頃からトライアスロンとパラトライアスロンの普及と発展に多大なるご支援を頂いているカーフマンジャパン・デュアスロングランプリ シーズン 17 が開催されるにあたり、トライアスロンファミリーを代表して心からお祝いを申し上げます。

今年度も国内唯一のデュアスロンシリーズレースが全国各地で開催されます。大阪府スポーツアイランド舞洲で初めて開催された近畿ステージは今シーズンで3回目の開催となるほか、人気の南関東ステージをはじめ、魅力あふれるその他のコースにおいても、日本各地から本大会に臨む選手の皆さんが日頃の成果を存分に発揮することを期待しています。

さて、2019年8月には、テストイベントとして「ITU ワールドトライアスロン オリンピックオリフィケーションイベント」、「ITU パラトライアスロンワールドカップ」、「ITU 世界ミックスリレートライアスロンシリーズ」がお台場海浜公園を舞台に4日間にわたり開催され、種目にミックスリレーやパラトライアスロンが加えられました。これも一重に全国の加盟団体の選手そして役員の方々の日頃からのご尽力のおかげと改めてお礼を申し上げる次第です。

昨今のスポーツ界では、競技団体の健全化が求められています。選手第一であるために、理事会そして社員総会が連携し、全国の加盟団体が有機的に連携しガバナンスの徹底に努めてまいります。

選手の皆さんは、大会開催にあたっては、競技環境を整備しながら大会を支える多数のボランティアそして裏方で準備するスタッフがいることを思い出してください。開催地の人々から選手の皆さんが歓迎される地域交流は、挨拶の一言から始まります。

結びに、本大会の開催にあたりましては、ご協力をいただいた多くの企業・団体と地元ボランティアの皆様へ、厚くお礼を申し上げます。カーフマンジャパン・デュアスロングランプリ シーズン 17 が、国民の健康促進と地域振興を促しながら、末永く開催されますよう期待し、大会の成功をお祈り申し上げます。



大会概要

開催期日	2020年2月9日(日)
開催場所	川崎港東扇島東公園及び周辺道路
主催	Calfman Japan 大会実行委員会 公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU)
競技主管	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合 (KnTU)
協賛	株式会社ロータス (ALTRA)、株式会社ジーオーエヌ、江崎グリコ株式会社、 有限会社スポーツアシスト、カリフォルニアレーズン協会、他
協力	公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU) 関東ブロック協議会、 公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU) 東京ブロック協議会、 川崎市トライアスロン協会

大会役員

大会会長	公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU) 会長	岩城 光英
大会副会長	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合 (KnTU) 会長 川崎市トライアスロン協会会長	渡邊 英夫 嶋崎 嘉夫
大会名誉顧問	元川崎市議会議員	粕谷 葉子
実行委員長	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合 (KnTU) 専務理事	高崎 聡
レースディレクター	ネオシステム株式会社	清本 直
技術代表	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合 (KnTU)	松村 一彦
審議委員	高崎 聡 (一般社団法人神奈川県トライアスロン連合 (KnTU)) 清本 直 (大会実行委員会代表) 松村 一彦 (技術代表)	
エリート審判長	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合 (KnTU)	篠原 永年
エイジ審判長	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合 (KnTU)	青山 英司
事務局	ネオシステム株式会社	早野 貴士・島村 将平



大会スケジュール

時刻	内容	人数		ナンバー		召集時間	制限時間	トランジション	
		TOTAL	区分別	番号帯	色			CLOSE	OPEN
7:00	開門								
7:30 ~ 9:00	受付 (全種目) ※1								
7:45 ~	トランジションバイクセットアップ開始								
8:40 ~ 9:10	バイクコース試走可能時間 ※2								
9:25 ~ 9:45	開会式/競技説明会 (参加必須) (エリート以外)								
10:01	キッズクラス 競技開始	100	52	49 - 100	赤	9:45	-	※3	10:50 (予定)
10:02	ジュニアクラス 競技開始		3	46 - 48	橙				
	ビギナークラス 競技開始		45	1 - 45	緑				
10:03	エイジクラス 第1ウェーブ 競技開始	199			青	9:45	-	※3	9:20
	男子 40 歳代		97	201 - 297					
	男子 60 歳以上		17	298 - 314					
	女子		38	315 - 352					
	シチズン		37	353 - 389					
エイジ1W	10	390 - 399		13:30 (予定)					
11:00	エイジクラス 第2ウェーブ 競技開始	236			黄	10:45	-	※4	
	男子 29 歳以下		94	501 - 594					
	男子 30 歳代		55	595 - 649					
	男子 50 歳代		77	650 - 726					
エイジ2W	10	727 - 736							
11:10 ~	ビギナー・ジュニア・キッズ 表彰式								
11:40 ~	競技説明会 (参加必須) (エリート)								
12:45	エリート女子 競技開始	87	10	1 - 10	赤	12:30	105 分	12:20	15:00
13:30	エリート男子 競技開始		77	21 - 97	黒	13:15	90 分	※5	
15:00 ~	表彰式/閉会式								

■ 各種目の競技説明会には、必ずご出席いただけますようお願いいたします。

■ トランジションへのバイクセットアップは、必ず指定された時間内で行ってください。

(上記表内のトランジション「CLOSE」の時間を参照 ※「OPEN」は競技終了後のピックアップ開始時間の目安)

※1 エリート含む全種目受付。遅刻はペナルティ対象となり、競技の安全性が確保できない場合は出場をお断りいたします。

※2 バイクコース試走は「8:55迄」に出発してください。尚、前日のバイクコース試走は禁止です。

※3 制限時間を設けていませんが、競技の安全性を確保できないと判断した場合は、競技を中断していただきます。

※4 「12:40迄」にバイク最終周回に進めない場合は、第2ランへ移行して頂きます。

また、エリート競技スタート時には、ラン競技中でもスタート地点付近では一旦停止していただく場合があります。

※5 キッズ・ジュニア・ビギナークラスのバイクピックアップ後より (11:30 予定)、バイクセットアップが可能です。時間外にバイクセットアップされる場合は、審判の指示に従ってください。

※6 バイクメカニックの準備はありません。各自で調整のうえご来場ください。



競技内容・距離

【エリート】	第1ラン：5.0km → バイク：28.8km → 第2ラン：5.0km
【エイジクラス】	第1ラン：5.4km → バイク：28.8km → 第2ラン：5.4km
【シチズンクラス】	第1ラン：5.4km → バイク：28.8km → 第2ラン：5.4km
【ビギナークラス】	第1ラン：2.0km → バイク：9.6km → 第2ラン：2.0km
【ジュニアクラス】	第1ラン：2.0km → バイク：9.6km → 第2ラン：2.0km
【キッズクラス】	第1ラン：1.0km → バイク：4.8km → 第2ラン：1.0km

表彰

エリート	男女別各1～3位
エイジクラス男子	29歳以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上 各1～3位
エイジクラス女子	39歳以下、40歳以上 各1～3位 ※エイジクラス年齢は世界選考基準の2020年12月31日を基準とします。
シチズンクラス	男女別各1～3位
ビギナークラス	男女別各1位
ジュニアクラス	男女別各1～3位
キッズクラス	学年別各1～3位
クラブ対抗戦	1～3位（所属クラブ毎の合計ポイント制 ※要事前登録）

■クラブ対抗戦獲得ポイント一覧

カテゴリー別総合順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	以降全て
獲得ポイント	20	15	10	9	8	7	6	5	4	3	1	以降全て

クラブ対抗戦は3名以上完走したクラブに、各部門の順位に応じたポイントを付与する。獲得ポイントは以下の順位に設定する。（最下位でも1ポイントを獲得できます）エリート男女別総合順位、エイジ年代別順位（表彰区分に準ずる）、リレー総合順位、ジュニア総合順位、キッズ総合順位、ビギナー総合順位

参加賞

参加賞	①大会オリジナルグッズ（引換券を大会本部の交換窓口へお持ちください） ②カップ麺、グリコ CCD パウダー、カリフォルニアレーズン他 ※①はエリートクラス、エイジクラス参加者のみ （リピーター割引対象者は除く）
-----	--



受付

7:30 より受付を致します。貴方のレース NO が宛名ラベルに記載されている封筒には、このプログラム（最終要項）と NO カード類、誓約書（WEB 申込み以外で未提出の方）、駐車証（お申込者の方）が同封されています。誓約書には署名・捺印・レース NO の記載をお忘れ無いようご提出ください。スムーズな受付にご協力をお願いいたします。受付時には協賛各社からの品物などが入ったトランジションバッグをお受け取りください。参加賞受領対象者の方は、スポーツアシスト出店ブースにてお受け取りください。荷物預かりは、選手に限り一人一点までとします。但し、貴重品はお預かりできません。

送付物（配布物）

送付物の内容をご確認ください。

①大会プログラム（本誌）：1冊

②ナンバーカード：2枚

前・後に装着してください。

※ナンバーベルト装着可

※前、後を間違えないようにしてください。

(前)



(後)

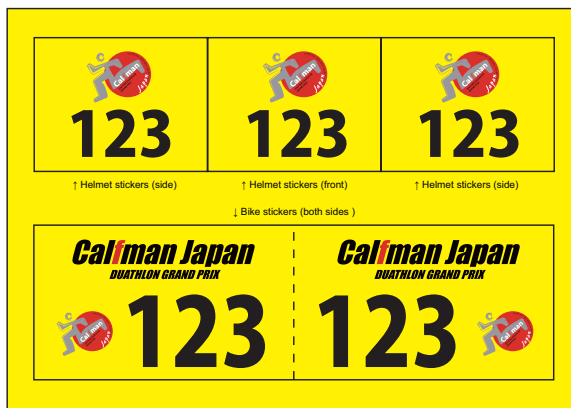


③ステッカーセット：1枚

ヘルメット用ステッカー：小／3枚
（正面と左右両面）

バイクステッカー：大／2枚
（左右両面から見えるように）

※ミシン目で切れるようになっています



④駐車証：1枚（※申込者のみ）

※駐車証のない方は、会場付近には駐車できません。

※駐車証をお持ちでない方（応援等も含む）

公園内の市営有料駐車場の利用は避け頂き、川崎マリエン駐車場をご利用下さい。



計測用タグ

召集時にお渡しするアンクルバンドには IC タグが挿入されており、こちらで皆さんのタイム計測を行っております。フィニッシュするまでは絶対に外さないでください。また、同時にお渡しするゴムも落下防止の為お付けいただくようお願いいたします。正確な計測を行うため、**IC タグの性質を理解されレースに臨んでください。レース中以外で計測場所に近づくと反応し、集計時のチェックに大きく時間を割かれてしまいます。**尚、今回のレースにおける2回のトランジションタイムは、全クラスともバイクタイムに含まれます。**この大会では最新のタイム計測機器を使用しています。機械計測の記録を最も有効な基準として採用します。フィニッシュ計測マット上で立ち止まったりしないで、通過するようにしてください。**

スポーツ保険

大会保険に基づき大会中の事故を補償いたします。ただし故意、犯罪行為、麻薬などの使用、精神障害、他覚症状のない“むちうち症”または腰痛、大会直前12ヶ月以内の既往症と因果関係のある疾病による身体障害、地震、噴火、津波、戦争や他の争乱などは対象外となります。

- ・死亡：1,000万円
- ・入院日額：5,000円
- ・通院日額：2,500円
- ・賠償責任：1億円
- ・免責：1万円

水分摂取

冬の大会でも体内の水分は確実に失われています。ランコース上のエイドステーション、バイク競技中のポトルで十分な水分摂取を行って、脱水に関して防衛してください。

競技内容の変更及び中止

気象状況などにより大会開催が危険と判断される場合は、大会当日7:00に主催者によりコース・距離などの変更、または中止を決定いたします。雷などで危険な状況が発生した場合は競技を中断する場合があります。その後、再スタートや中止の判断をいたします。

大会公式ホームページで周知いたします。アドレス：<http://www.calfman.jp>

尚、中止・変更があった場合でも参加費の返還はいたしかねます。また、会場までの交通費の補償なども行いかねますのでご了承ください。

トランジション

エリア内は競技者と特別に許可を受けた者以外は立入りできません。エリア内はペダル片足走行も含め乗車禁止です。ヘルメットのストラップはラックからバイクを外す前にしっかりと締め、フィニッシュ後はバイクを掛けてからストラップを外してください。

エリア内でのルール遵守にご協力ください。バイクの設置方法が守られていないバイクは、選手への了承を得ずに直しますのでご了承ください。

エリートには専用の用具ボックス(かご)が準備されます。シューズとヘルメットは用具ボックスに入れて下さい。第1ランで使用したランニングシューズを第2ランで使用する場合は、用具ボックスに入れる必要はありません。



車検

車検はとり行いませんので、安全に走行できる状態をご準備の上、参加してください。

バイク周回チェック

周回不足と判断した場合は非完走（DNF）となります。スタッフが周回数を数える事はありません。自己責任において規定の周回をカウントしてください。周回数が正しいかのどうかの判定は①周回チェックの計測（その場でお答えするものではありません）②各選手のタイム③サイクルコンピューターの距離 ①～③を総合的に判断し、選手が正しく周回したかを判断いたします。

リタイア（DNF）

大会において選手の安全確保は最も優先する事項です。万一レース前やレース中に体調が優れない場合は「勇気あるリタイア」も選択のひとつです。安全に楽しくレースを行ってください。

リタイアする場合は必ず近くのスタッフに「リタイア」する旨とレースナンバーを報告し、アンクルバンド（タグ）を審判員にお渡しください。

競技ウェア（フロントジッパー付着用）について

●エリート

最高気温 10 度前後が予想されるための防寒対策として今大会では「競技中にファスナーを下げないこと」を条件に、着用を特別に許可します。競技中にファスナーを下げている選手を発見した場合、ペナルティの対象となります。

●それ以外のカテゴリ

本ルールは適用いたしません。ただし、フィニッシュではファスナーを上げるようにしてください。

競技規則

①本大会競技規則は、JTU 競技規則及び ITU 競技規則に準じ、一部ローカルルールとする。

http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/JTU_COMPETITIONRULES_20190207.pdf

上記の JTU 競技規則におけるランおよびバイク部分をよくお読みになり、デュアスロンの競技特性を理解した上でレースに臨んでください。

② この競技は、一人の選手が独力でランニングと自転車（バイク）を連続して行うものである。

③ 計測にアンクルバンドを使用する。競技中常時着用すること

④ 選手はスポーツマンシップをもって行動し、競技中は安全を第一に考え、お互いに迷惑になる行為は慎む。

⑤ 選手は、大会役員（競技役員・コース監察員等）の指示にはすみやかに従うこと。

⑥ 選手が競技規則に違反した場合は、タイムペナルティーまたは、失格になる場合がある。

⑦ 競技役員は、参加選手の競技続行が当人の健康を害したり、致死の恐れありと判断した場合には、競技をやめさせる権限を持つ。

⑧ 選手が競技からリタイアする場合は、直ちに競技役員に申し出て大会本部に通告する。



ルールについて

今大会は、ドラフティング禁止ルール（エリート除く）で行われます。以下に、JTU ルールブックからの抜粋を引用いたします。

デュアスロンの競技規則について

JTU 競技規則（ラン及びバイク部分）

■ 競技者の心得

- 1 大会は予測できないことの連続である。風、暑さ寒さ、観客や車の飛び出し、見えなくぼみ。危険を察知し、適切な判断で競技する。
- 2 日頃の練習と健康管理。早めの水分補給。マイペース。リタイヤの勇気を持つ。
- 3 ドラフトゾーンやトランジション・スペースなど「競技スペース」を守る。

■ 競技について

- 1 競技は車の運転と同じ＝競技者は運転手。審判員は警察官。車間距離とキープレフト。追越し車線。悪路や渋滞での減速。徐行と加速、ゆずりあいの精神で安全運転。

■ ウェアと用具

- 1 バイクでは、規定のヘルメットと用具。ランではシューズを着用。
- 2 レースナンバーは、四隅を留める。全面が見えるよう気を配る。折り曲げ、変造は禁止。ナンバーベルト使用では、レースナンバーが極端に下にならないよう配慮。
- 3 サングラスは、透明度の高いものがよい。総合フィニッシュでは、サングラスをはずす。
- 4 音響・通信機器の使用は禁止。

■ スムーズな競技とリタイヤ

- 1 危険・妨害行為は禁止。相手の優先コースを判断し、スムーズで安全な流れを守る。
- 2 リタイヤは、スタッフに伝え、大会本部にも連絡する。

■ トランジションエリア

- 1 競技コースの一部。エリア内は乗車禁止。ペダル片足走行も禁止。
- 2 ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締める。フィニッシュ後は、バイクを掛けてからストラップを外す。
- 3 乗車ラインを越えて、一歩以上足を地面に着いてから乗車。降車ラインの手前で、足が一歩以上地面に着いてから降車。

■ バイク（自転車）

- 1 バイクは体に合ったものを使用する。
- 2 ヘルメットを深くかぶり、ストラップをあごにかかるように締める。
- 3 規制されたコースでも、交通規則を守る。表示板、コーン、大会スタッフ、競技役員の指示に従い競技する。
- 4 《前方注意・車間距離の確保》は、重要な義務。転倒や急ブレーキ、相手の動きに注意。エアロバーでは、視界が狭まりブレーキが遅れる。
- 5 キープレフト：左側走行（左端から1m、コース幅の左側1/3以内基準）で競技する。コース右側は追い抜きスペース。
- 6 追越しは、後ろを確認し、前走者の右側から。センター寄りの走者には注意を与える。不安があれば「一声掛けて追越し」と効果的。
- 7 ドラフティング走行・集団走行・併走は禁止。
- 8 キッズ・ジュニア・ビギナークラスのDHハンドルの装着禁止。



<バイク追い越しと手順>

- 1 「追い越しを試みている」とは、追い越す気持ちを持って前進している状態をいい、先行する選手のドラフトゾーン内において先行する選手と同一の速度を保ったまま走行しているときは、追い越しを試みているとはみなされない。
- 2 先行する選手は、追い越されるまでは加速をして競うことができる。
- 3 追い越しを試みている選手のバイク前輪の最前部が、先行する選手のバイク前輪の最前部より前方に出たときに「追い越された」とみなす。
- 4 追い越した選手は、追い越すときの速度を持続させ、追い越された選手の前輪の最前部から次の距離を引き離してから緩やかにキープレフト走行に入るものとし、キープレフト走行に入る前に速度を緩めてはならない。
 - ・スタンダードディスタンス以下：前方選手の前輪先端から後方10m
- 5 追い越された選手は、追い越された瞬間から加速を止め、次に示した時間と距離を離れてドラフトゾーンから脱しなければならない。
 - ・スタンダードディスタンス以下：前方選手の前輪先端から後方10m、20秒以内
- 6 追い越された選手は、通過した選手のドラフトゾーンから後退し、通過選手のドラフトゾーンから脱しなければならない。ドラフトゾーンから脱落する前に、通過した選手を追い抜くことは、ドラフティング違反となる。

追い越された選手が、規定のタイム以上に通過した選手のドラフトゾーンにいることは、ドラフティング違反となる。
- 7 複数の先行する選手を追い越す場合において、それらの選手の間に入ることによってドラフトゾーンの重なりが生じるときは、これらの選手の間に入ることなく一気に追い越さなければならない。

■ エイドステーション

- 1 スタッフは、止まって渡し、走らない。競技者が注意して受け取る。
- 2 エイドステーション以外での支援は禁止。

注意事項

【全種目共通】

- トランジションエリアには、選手・大会関係者以外は、原則入れません。
- コース上へ、ゴミの投げ捨ては厳禁です。
- アクションカメラやスマートフォンなど、競技を行うために必要のない機器を装着してバイク競技を行うことはできません。
- バイクコースにはエイドステーションはありません。

各自バイクボトルなどに補給ドリンクをご用意ください。(ペットボトルは落下防止の為、ご使用になれません。) スタート前にエイドステーションで補給可能です。エイドステーションは、フィニッシュ及びランコース上にあります。



ルールについて (エリート)

エリートは、ドラフティング走行許可大会（但し、異性間ドラフティングは禁止）となります。

エリートについては、ITU競技規則（和訳版）

「http://www.jtu.or.jp/marshal/pdf/itusport_competition-rules_2019.pdf」の、

5. CYCLING: バイク (P60 ~)、6. RUNNING: ラン (P79 ~)、7. TRANSITION AREA: トランジション (P81 ~) を適用する。

下記ハンドル規定外のバイクでは参加できません

(ITU競技規則 (和訳版) 【5. CYCLING: バイク】より抜粋)

5. CYCLING: バイク

5.2. Equipment: 用具

f.) Handlebars: ハンドルバー

(i) エリート、U23、ジュニアやユースのドラフティング許可レースでは、以下のハンドルバー規則を適用する。

- 伝統的なドロップハンドルだけを許可する。ハンドルバーは、先端をふさがなければならない。
- クリップオンハンドルバーは、ブレーキレバーの最前部を超えてはならない。
- クリップオンの先方の両先端は、市販の硬質ブリッジでつながれているか、双方が接触していなければならない。
- ブレーキレバー又はギアレバーは、クリップオンハンドルバーに取り付けてはいけない。クリップオンハンドルの最高部と肘あての最低部の高さの差は 10cm を超えてはならない。
- ウォーターボトルとそのホルダーはハンドルまたはクリップオンハンドルバーに取り付けてはいけない。

注意事項

【エリート】

- ホイールステーションは、乗降車ライン付近に設置します。
 - ペナルティボックスは、ランコースに設置します。
 - エアロヘルメット（後ろが尖ったタイプ）の使用を禁止します。
 - 用具入れについて
 - ・第 2 ランにおいて、第 1 ランと同じシューズを使用したい場合、トランジションエリアの用具入れに入れる必要はない。
 - ・ラン用シューズ 1 組は、用具入れではなく地面に置いてよい。
 - ・ラン用シューズは用具入れの 0.5 m 以内に置かなければならない。
- ※強風により用具入れを設置できない場合があります。その場合は用具入れの位置にテープなどでマーキングします。詳細は競技説明会で説明するので、必ず参加するようお願いします。



会場までのアクセス方法

会場は、川崎市の一帯東京湾よりにある因り人工島、扇島の東端にある**東扇島東公園**です。



会場への交通機関

●公共交通機関の場合

川崎駅東口 12 番乗り場、市バス「川 05 系統・東扇島循環」に乗り、30～40 分で「東扇島東公園」下車。降車地点の歩道の足下に案内が出ています。バスの進行方向最初の交差点に東公園の正面入口があります。公園内の【渚の休憩所】が大会本部となります。

●お車の場合

○首都高利用の場合は、東扇島出口を出て、国道 357 号線を東進して下さい。

つきあたりの T 字路が東公園です。

※東京方面から首都高を横浜方向に利用して東扇島ランプを出ると、国道 357 号線を西進する方向に出ますので、約 500m 直進（西進）して最初の信号のある交差点で右折、首都高をくぐって、反対側にある国道 357 号線の東進路に入り東向きに戻して下さい。

○川崎市街地方向から川崎港海底トンネルを利用する場合は、海底トンネルを抜け出た最初の分岐点を左に入り、左カーブの坂道を上って行くと国道 357 号線東向きに合流します。

T 字路まで直進して下さい。その T 字路を右折し、最初の交差点を公園に沿って左折すれば、すぐに駐車場のゲートが見えます（ここは一般車両の「出口」になります。）

さらに 300m ほど進むと【選手駐車場】がありますので、係員の誘導に従って下さい。

●輪行の場合

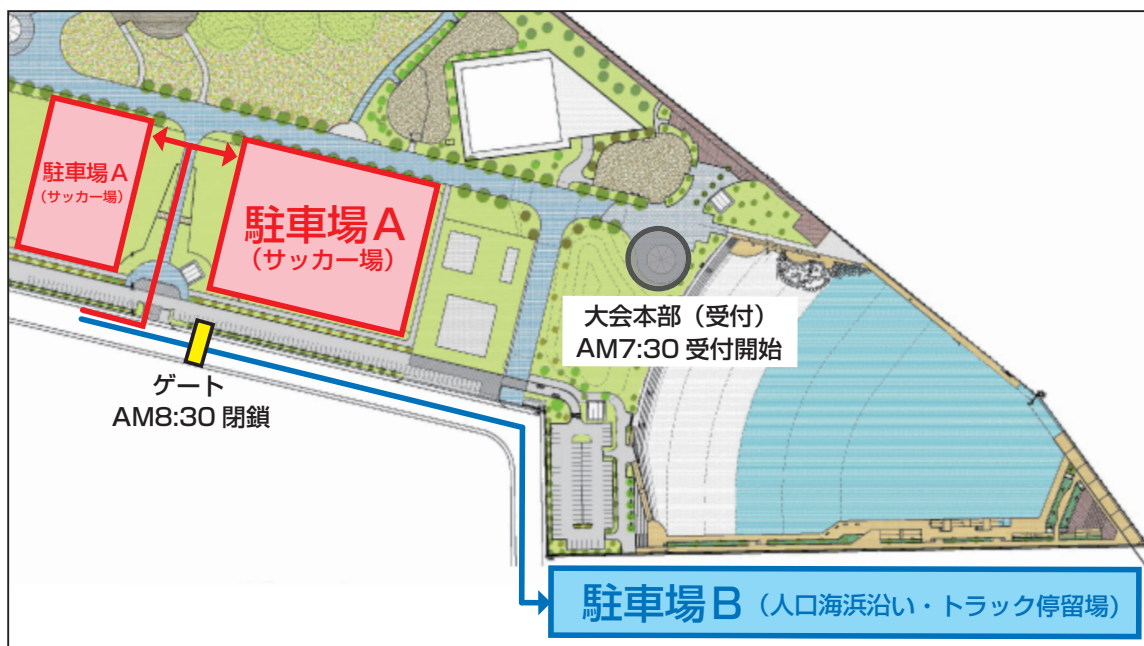
川崎駅等の最寄駅から**会場まで自転車でのご来場（自走）は、お勧めいたしません。**

自転車通行不可の海底トンネルがありますので、歩行者専用トンネル（人道）を自転車から降りて通行していただくことになります。



駐車場について

- 大会会場に自動車でお越しになる場合、**同封されている「駐車証」**をご提示いただきます。
大会指定駐車場をご利用頂きますので、警備員の許可に従って入場をお願いいたします。公道及び港湾道路などへの不法駐車・迷惑駐車はされませんようお願いいたします。
- 駐車料金を未払いの方は、本部受付にて 500 円をお支払い下さい。
- 事前に申込され、駐車許可証のある車両しか駐車場をご利用いただけません。申込を忘れてしまった方は、大会事務局へご連絡ください。
- 駐車場のご案内



※駐車場は A、B 2箇所ございます、駐車許可証をご確認ください。

○選手用「A駐車場」についての注意事項

- ・7:00 開門後は、退場開始についての時間制限はございませんが、16:30 までに退場してください。
公園内の運転はくれぐれもご注意ください。
- ・公園内は徐行、芝生への車両の立ち入りは厳禁です。

○選手用「B駐車場」についての注意事項

【入場時の注意点】

バイクコース試走・設営のため、**8:30**迄に入庫をお願いします。**(8:30にゲートを封鎖します。)**
ゲート閉門後の入場は出来ませんので、早めの入場をお願いします。

【退場時の注意点】

エリートクラスのバイク競技終了まで移動は出来ません。

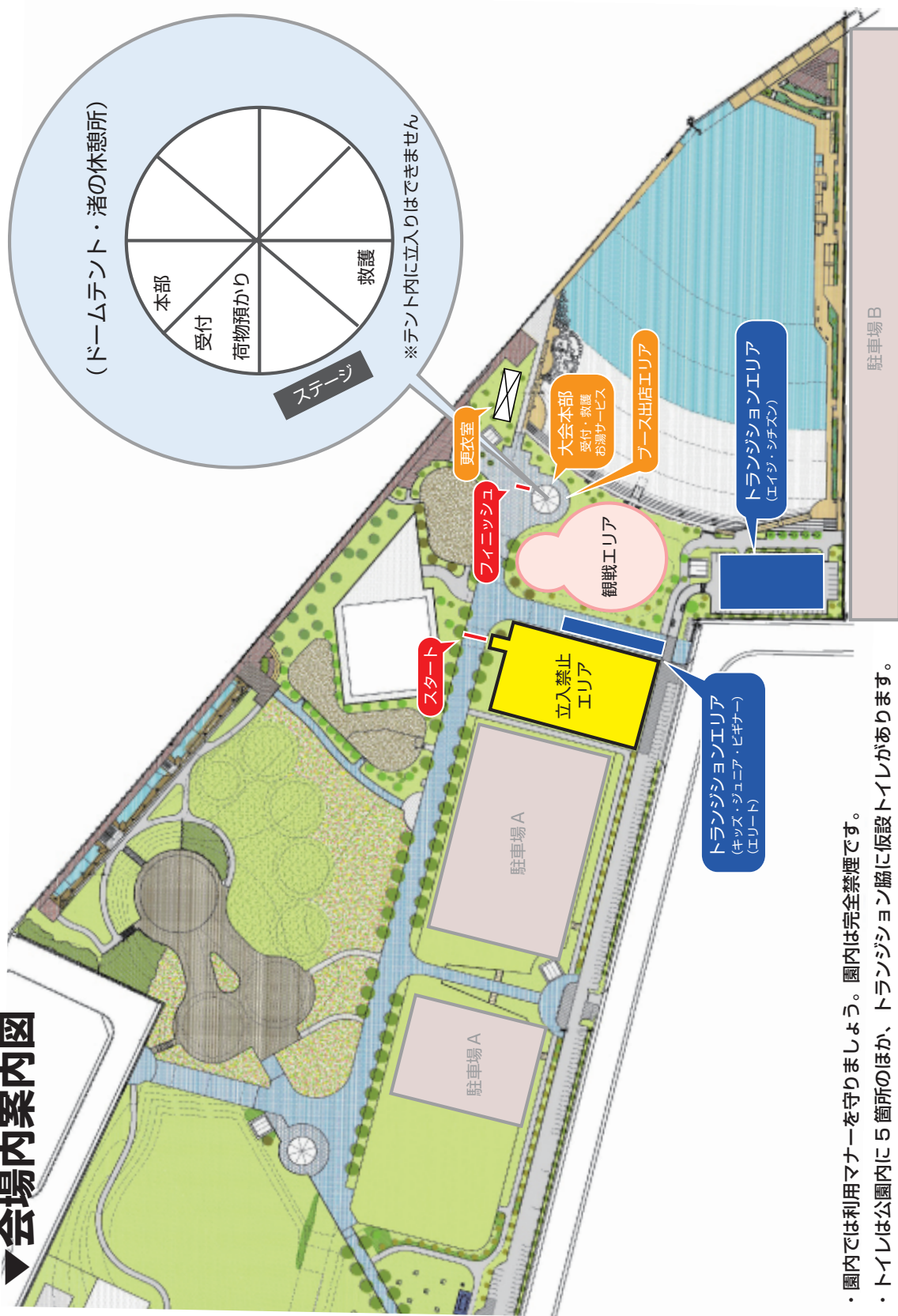
競技終了後の退場の際には、係員の指示に従ってください。

●**駐車証をお持ちでない方 (応援等も含む)**

公園内の有料駐車場の利用はお避け頂き、**川崎マリエン駐車場**をご利用下さい。



▼会場内案内図



- ・園内では利用マナーを守りましょう。園内は完全禁煙です。
- ・トイレは公園内に5箇所のほか、トランジション脇に仮設トイレがあります。